

Remarks by Honourable Mr. Hiroshige SEKO, Minister for Economy, Trade and Industry

Distinguished colleagues, friends, ladies and gentlemen.

With arms wide open, I invite you all to Osaka, Kansai, Japan.

As Minister of Economy, Trade and Industry, I say the following.

Japan is hosting EXPO 2025 NOT for the country's sake. Not even for the sake of Osaka, Kansai. We are hosting EXPO 2025 for the sake of US ALL.

In Osaka, Kansai, no one will be left behind.

I underwrite our promise again.

A total of 218 million US dollars, or 187 million euros, will be provided to assist your participation.

Because ours will be to inspire people the world over to create better solutions toward the SDGs, and lest you should forget, no one shall be left behind in pursuit of the goals.

Because, also, ours will be like a laboratory, again, for us all.

It will be a living laboratory for co-creation, in order for us to TOGETHER think what is best for us to save, empower, and connect our lives all across the world.

To repeat, in Osaka, Kansai, in 2025, you will find yourself standing right in the middle of the best laboratory ever built to co-create solutions in our pursuit of the SDGs.

I now say the following as an Osakan.

For 185 days, you will all be Osakans as well.

Think about it. You can find 1,124 sushi places in Osaka-city alone. Out of which, more than 750 are run by individual owner chefs, like no other.

Or if you are in the mood, sing aloud in one of Osaka's karaoke places. You will see dozens and dozens of them.

Long a gateway to Asia, both continental and maritime, Osaka, Kansai offers a rich fabric of diverse culture.

If you get bored of Osaka, Kansai, seriously, you must be bored of living, for in Osaka, Kansai, you get everything, and I repeat, EVERYTHING.

Again, the people of Osaka, Kansai, are prepared. They are ready to welcome you all.

Let us have fun together in Osaka, Kansai.

Thank you, and I know I will see you all in Osaka, Kansai.

世耕弘成経済産業大臣、プレゼンテーション (原本英語)

親愛なる同僚、友人の皆さん、ご列席の方々、この、両の腕(かいな)を思うさま広げまして、みなさまを日本、大阪・関西に、ご招待いたします。

次のことを、これは経済産業大臣として申し上げます。

わが日本は、EXPO2025を、自分の国に良かれと思って、開くではありません。

大阪・関西のためにということで、開催するのでもない。

万博を日本が開くのは、わたしたちすべて、みんなのためにであるという、まさにその一点であります。

大阪・関西は、誰一人として、置いてきぼりにはいたしません。

わたくしどもからのお約束を、もう一度、ここに裏書いたしましょう。

みなさまがたの参加をアシストすべく、総額にして、2億1800万ドル、あるいは1億8700万ユーロ相当の支援が、みなさまがたに提供されます。

なんとなれば、わたくしたちの万博こそは、世界中の人々に思いをかきたてていた

だき、SDGsに向け、よりよい策をつくりだしていただくことを目的とするからであります。

さらに、ゆめお忘れなきよう——、SDGsを追い求める営みにおいて、誰一人、取り残されなどしてはならないからであります。

またこうも申せます。わたくしどもの万博は、あたかも一個の実験室、再び申しますが、われわれみんなにとっての、ラボラトリーのごとくであります。

それは一個の、リビング・ラボラトリー。「共創」のため、世界中の人々の暮らしを守って、強靱にして、しかもつながり合うようにするには、何が最善の策かをみんなで一緒に考えるため、そのための、リビング・ラボラトリーなのであります。

繰り返しましょう。時は2025年、ところは大阪・関西、みなさまがたは、SDGsを追い求め、ソリューションを共に創造しようとの目的のもとつくられる、これまでに例をみない最も優れた実験室の、そのまんまなか立っている、そんな姿を、見出すことになるのであります。

さてここからは、ひとりの大阪人として申し
ましょう。

会期期間中の185日間は、みなさんも、
全員、大阪人になるわけですね。

でしたらちょっと、考えてほしいんですが、
大阪市だけで、1124軒。

これ、寿司店の数です。うち、個人オーナ
ー経営のお店、どことも違う、独特というお
店の数は、750にのぼります。

もしかして、ちょっとそういう気分かなとい
うときは、どっかカラオケに行って、大きな声
を出して歌いましょう。何十という数ではき
かないくらい、カラオケのお店もあります。

いっぽう大阪は、アジアへの玄関口です。
陸のアジア、海のアジアの双方に通じるゲ
ートウェイとして、長い歴史をもっていますか
ら、文化の多彩ぶりたるや、実に豊かなもの
をご提供できます。

〔ロンドンのことを言ったジョンソン博士のひそみ
にならうならば〕まじめな話、大阪・関西に倦
むようですと、それは、生きていくことそのこ
とに厭きたも同然です。なぜというに、大
阪・関西にはすべてがあるから。繰り返しま
しょう、すべてが、あるからです。

さあもう一度申します。大阪・関西の人た
ちは、準備万端です。みなさまがたみんな
を、お迎えする用意、完了です。

大阪・関西で、いっしょにやろうじゃありま
せんか。うんと楽しんで、おおいにやろうで
はありませんか。

ありがとうございます。そしてみなさま、大
阪・関西で、お目にかかります、必ず必ず、
お目にかかります。